

こいが

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年11月5日発行

第16号(通巻第376号)

発行者: 星山 圭 編集者:組織部

関する 6

期末手当は とを踏まえ、

ついて組合側は、

社員の取

と指摘し、

経営側はすべて

期末手当の支給水準に

|に会社を成長させている

れています。

音の意見が続々と寄せら

組合側の主張

対するスタンスが示されました。

戸惑いと不安を抱きなが 性は大きく向上している 出されていることを指摘 は社員の奮闘により生み 移していることや、好業績 らも、鉄道会社の使命と誇 む組織の再編や働き方に と主張しました。 て、社員一人ひとりの生産 社員はこの間、 新たな働き方を通し 急速に進

る基本給が総じて低いこ り巻く環境の変化と、期末 欠だと主張しました。 5ヶ月分以上」が必要不可 手当の基準額の基礎とな 直近の業績が好調に推 「年間最低6・ JR東日本の 成長度合い」を見たとき られないと主張しました。 経営側の出し渋りは認め 件費でコントロールする 直結する社員の奮闘に対 き合う責任があり、利益に の社員の努力に真摯に向 に、社員がJR東日本で働 年間支給水準」と「会社の して支給額を抑え込み、 その上で、「期末手当の

営側の責任として埋めな るためには、この乖離を経 くてはならないと訴え、全 くことの誇りと自信を得 営側の認識

社員一丸の取り組みに感謝 一求めました。 社員一 律 「基準内賃金の

|3・7ヶ月分」の支払いを

りを見失うことなく、確実一ることができたのは、社員 進し、JR東日本が成長す 数字に表れているとの認 成果であり、それが決算の 一丸となった取り組みの 経営側は、構造改革を推 のもと成 今後は | 全やサービスの維持向上、 車両、設備の更新、激甚化 定的に確保していくため する災害等に対応する設 ました。 対する努力が必要だとし に引き続き生産性向上に 備投資に必要な資金を安 630億円となりました。 前年104・9%の1兆4 などにより、営業収益が対 やエキナカ店舗の売上増

れまでの処遇改善等を踏 を超える基本給改定やこ 今年実施した平均2万円 まえ、年末手当については ントで増収となりました。 のをはじめ、 事業が増収増益となった 来線ともに増加、 旅客輸送量は新幹線・在 セグメント別では、 全てのセグメ

3

5 増 0

3

火収益 正し、営 も上

それに伴

は厳しさが増すとして、

高騰による工事費の増加 について人口減少や物価 テージアップしていくこ 長軌道をさらに大きくス

算の状況や情勢を踏まえ、

1472億円でした。

れ 容をいず 表した内

方

その上で、直近の単体決

り、

対前年105・3%の

証券売却益の増などによ

4月に公 績予想は、

中間純利益は投資有価

2 5 年

より20

こ れ

通

期の

業 度

とを目指すとしました。

また、中長期的な見通し

識を示した上で、

勇翔2034」

組合側より要求の趣旨を説明するととも 経営側からは現状認識と年末手当交渉に 社員の努力に報いる手当を 2025 第 1 以降、年末手当に対する本 を決定し申入れを行って 東日本ユニオンが要求

年度年末手当に関する申入れについ

中央本部は

10月31日に申

11号

て

回目となる団体交渉を行いました。

さんの知恵と力を貸して ち東日本ユニオンにみな 下さい! 要求実現に向けて、 私た

すれば最低でも10

ば、やる気が起きな

になった。ボーナスは多

円くらいかかるよう

く出して欲しい

ナスも返済ですぐにな で貯蓄もできない。ボー

・来年、運賃が改定となる

社員への還元も大切だ。

・社員と家族の幸せを考え るなら、3・7ヶ月は出 いくらいだ せるはず。むしろ足りな

が上がり、今は6カ月で 会社の経営状況は好調、 に価も毎月様々なもの

物

J R 東 日 本 第2四半期決算発表

0億円、

純利益で100億

円増の2370

億円

など

としました。

に、2025年度の第2四 増益を実現しました。 体ともに5期連続の増 半期決算を発表しました。 連結では鉄道の利用 これによると、連結・単 ·R東日本は10月30日 9% が定期で対前年107・ れも増加し、 なりました。 04・6%となるなどいず い鉄道運輸収入は新幹線 億円増の9 在来線の定期外が1 158億円と 対前年370

全体の業績を支え、 力がJR東日本グ 私たち社員の 日 Þ

に反映された形となりま ハープ 好調さ 0)

にな仲間が

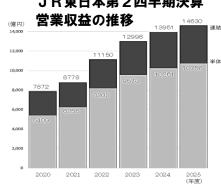
・会社の目指すことや社員 物価も上がって、外食を に求めることは大き のに、ボーナスが低けれ は足りない。年間6・5

カ月以上は必要

・今の給料では月々の生活 くなってしまう

がんばろう

JR東日本第2四半期決算



億円でした。

194億円増の14

5 2

756億円、

中間純利益は

年495億円増の1兆

単体では営収益が

対